地域特集 kon-ne 大村

# 楽しむことからつなぐ 大村獅子舞（ししまい）の伝統

大村市西本町
大村獅子舞保存会PR隊長
**北村　満宏さん**

**大村市のアーケード街の近く、西本町にある皇大神宮（こうたい）神社では、木曜日の夜になると笛や太鼓の音が響き渡ります。その中心にいるのは、3年前に東京からUターンした北村満宏さん。デザイナーとして活動しながら、140年以上続く大村獅子舞を盛り上げています。**

北村さんにとって獅子舞は幼い頃から身近な存在でした。小学2年生で獅子を先導する「玉振り」を経験し、高学年の時には「子獅子」を務めました。高校3年生の時には篠笛（しのぶえ）を担当するなど、一通りの役割を経験し、獅子舞を誇りに思っていました。

その後、長崎市を皮切りに大阪、東京でおよそ32年間、広告デザインの仕事に携わってきました。25年ぶりに帰郷した理由は、高齢の両親を支えるためでした。

帰郷直後はOBとして演舞を見学する「追っかけ」でしたが、ある日、保存会の会長から声がかかり、活動を始めました。現場に来て、まず深刻な担い手不足を痛感。「このままでは、数年後には見られなくなるのではないか」。危機感を抱いた北村さんは、自身のデザインスキルを生かして、大村獅子舞の魅力を伝える取り組みを始めました。

まず着手したのは情報発信。『後継者不足で 獅子が言う事 聞いてくれず困っています』と、玉振りが悩みを打ち明けるユーモアのある募集チラシや、親しみやすいLINEスタンプを制作。不慣れなインスタグラムも悪戦苦闘しながら発信し続けました。

こうした活動が実を結び、昨年は香川県の獅子舞団体「向井獅子組」との共演が実現。市内外のイベントへの出演依頼が相次ぎました。しかし、認知度が上がる一方、新規加入者数は伸びず、今年は募集に力を入れ、新展開を模索しています。

その半面、休止を余儀なくされた場合の対策も講じています。譜面のない囃子（はやし）のリズムや奏法、舞い手の動きや舞の意味などをデジタルで記録し、可視化したいと思っています。また、後生へつなぐため子ども向けの絵本作りも検討しています。

「継承する責任感よりも、楽しめるコミュニティにすること。町外の人の参加も歓迎です。今の時代に合った形でつなぐことで、この町には誇れる伝統があるという実感が生まれ、町の活力につながればいいと思うんです」と未来を見据えています。

## ガラスの砂浜

大村市森園町の森園公園近くにある砂浜。大村湾の水質改善を目的に2016年に造成されました。廃ガラスから製造した人工砂が敷き詰められ、色とりどりにキラキラ輝き、写真撮影スポットとしても人気です。

## おおむら夏越まつり

市内25神社が合同で無病息災を祈る行事。8月1日の花火大会から始まり、2日、3日の本まつりではJR大村駅前一帯が歩行者天国となり出店が立ち並びます。最終日の「総踊り」では、1,000人以上が通りを踊りながら練り歩きます。



表紙のコト

## 大村公園

大村氏の居城だった玖島（くしま）城跡にあり、「日本さくら名所100選」の地に選定されるなど、花の名所として知られています。市内で花が見頃となる3月下旬から「おおむら花まつり」が始まり、大村公園でも4月上旬までの桜に続き、5月下旬から6月上旬は花菖蒲（はなしょうぶ）が咲き誇ります。扇勾配の曲線が美しい石垣の上に復元されている「板敷櫓（いたじきやぐら）」は公園のシンボルとして親しまれ、撮影スポットにぴったり。

大村市観光コンベンション協会の皆さん

「これから花がきれいな季節。歴史を感じられる石垣も楽しんで（大村市観光コンベンション協会の友廣さん）」

**大村市観光コンベンション協会**
ところ 大村市玖島1丁目45-3
営業 9時～17時 ※水曜定休
☎ 0957-52-3605

## 祝いの席に欠かせぬソウルフード

### 元祖大村角ずし やまと

戦国時代、大村領主の領地奪還を祝い領民が振る舞ったとの言い伝えがあります。

すし飯と、ゴボウやシイタケなどを甘辛く煮た具材を重ね、錦糸たまごを鮮やかに飾り付けた郷土料理。すし飯は130年前の創業時から一子相伝で、当時から変わらぬ味付けです。祝いの席や盆、正月の家族の集まりには欠かせない「大村のソウルフード」として親しまれています。

ところ 大村市本町474-5
営業 持ち帰り:8時～20時
食　事:10時～20時（ラストオーダー19時）
※火曜、水曜定休
☎ 0957-52-3546

5代目店主
永田 隆利さん

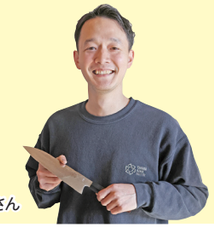
## 切れ味定評 海外でも人気 松原包丁

### 田中鎌工業

2019年に県の特産品新作展 工芸・日用品部門で最優秀賞に輝いた「ToiRo（十色）」

500年以上の歴史がある松原の刃物。同社の包丁は材料選びから鍛造（たんぞう）、研ぎ、柄の取り付けまで細部にこだわっています。切れ味と粘りに定評があり、研ぎ直すことで長く使えます。日本の刃物は海外でも人気があり、大村から世界の食卓も笑顔にする鍛冶屋を目指しています。

ところ 大村市松原本町371
営業 10時～17時
※第3日曜定休
※研ぎ直しは木曜、日曜、祝日休み
☎ 0957-55-8551



5代目
田中 裕紀さん

## 地域のニュートピックを紹介　大村市が「子育てしやすい自治体ランキング」で全国1位

昨年10月に公表された日経BP総合研究所の「子育てしやすい自治体ランキング2025」で、大村市が全国1位になりました。子育て関連の指標や年少人口の伸びなどを得点化して順位を決定。同市によると「この話題を知り、県外での移住相談会で大村のブースを訪れる人が増えている」そうです。